

第57回生活と環境全国大会 事務局  
一般財団法人 日本環境衛生センター  
研修広報部 企画広報課  
〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6  
TEL : 044-288-5095 / FAX : 044-288-5217  
URL : <http://www.jesc.or.jp/>

## 10月31日。動き出す“不用品回収業者問題”

～第57回生活と環境全国大会(於:香川県高松市)のご案内

謹啓

平素よりお世話になっております。

日頃は格別のご高配を賜り、誠に有難うございます。

私ども日本環境衛生センターは、毎年日本全国で場所を変えて、「生活と環境全国大会」を実施しております。今年は10月30日～11月1日、サンポートホール高松(香川県高松市)で開催します。(参加無料、抄録集は3,000円で頒布)

今大会では、目玉企画の一つとして、香川県・高松市・当センターの共同企画「リレー講演 使用済み家電など不用品回収業者の実態と対策」を、10月31日(木)の10:00～12:00に予定しております。これは、廃棄物処理法等の業許可なしに市中で「無料回収」などどうたって活動し、小型家電リサイクル法の適正な実施にも影響しかねない“不用品回収業者”の問題を正面から取り上げ、対策を検討するものです。

この問題を「秩序の根幹の危機」と見据え、国を挙げての対策を強化されている環境省のご担当者や、全国初の無料回収所の摘発を警察と連携して実施された岐阜市のご担当者に、この問題への取り組みの姿勢と決意を伺うものです。また、高松清掃事業協同組合の細谷芳久理事長にも、適法・適正な事業者様としてのお立場からご登壇頂き、違法事業者の取り締まりの徹底によって初めて、小型家電リサイクル制度もきちんと動き出すということを、力強く語って頂きます。

各位には、ぜひ会場まで足をお運び頂き、関係者が集まってこの問題を熱く議論する場に、立ち会って頂ければ幸甚と存じます。事前申込はHP(<http://www.jesc.or.jp/>)内の「第57回生活と環境全国大会」から行って頂くと、当日スムーズに入場できます。また大会期間中には他にも、南海トラフ地震で想定される災害廃棄物対策や、廃棄物関係公開講座など、廃棄物にまつわる講演を数多く予定しております。関連資料を添付しますので、ぜひご参加をご検討頂ければと存じます。

お忙しいところ恐縮とは存じますが、よろしくお願い申し上げます。

謹白

リレー講演

【香川県・高松市・一般財団法人日本環境衛生センター共同企画】

## 使用済み家電など不用品回収業者の実態と対策

使用済み家電製品などを市中で回収する、いわゆる「不用品回収業者」の中には、廃棄物処理法の業許可などを受けていないものが多くあり、住民とのトラブルが多発しています。また回収された廃家電なども、海外へ違法に輸出して不適正な処理がなされるなど、環境問題上の課題として対応が急務となっています。こうした「不用品回収業者問題」を見据え、今後の対策を展望します。

●日時：10月31日（木） 10:00～12:00

●会場：サンポートホール高松 第2小ホール

### ■ 講演 1 10:00～10:30

#### 「違法な不用品回収業者について」

眼目 佳秀（環境省廃棄物・リサイクル対策部  
リサイクル推進室 室長補佐）



### ■ 講演 2 10:30～11:00

#### 「家電の無許可『無料回収所』を県警が全国初の摘発」

鹿嶋 宏治（岐阜市環境事業部環境事業課 不法投棄防止係長）



### ■ 講演 3 11:00～11:30

#### 「違法輸出 水際対策の現場」

中野 正博（環境省中国四国地方環境事務所  
廃棄物・リサイクル対策課 首席廃棄物対策等調査官）



### ■ 講演 4 11:30～12:00

#### 「不用品回収問題と小電リサイクル法を考える」

細谷 芳久（高松清掃事業協同組合理事長）



# 「第57回生活と環境全国大会」における 南海トラフ地震・災害対策関連プログラム (抜粋)

主催：一般財団法人日本環境衛生センター  
後援：環境省／厚生労働省／香川県／高松市  
会場：サンポートホール高松（入場無料）  
香川県高松市サンポート2番1号  
日程：2013年10月30日（水）～11月1日（金）

いわゆる「南海トラフ地震」による被害規模は、最悪のケースで死者約32万人、建物の全壊は約239万戸に上ると推計されており、これは東日本大震災に比べ約20倍の規模となります。こうした甚大な被害想定に対し、例えば膨大に発生することが予想されている災害廃棄物処理などの備えはどうあるべきか。また衛生問題などへの対応は。環境省でも2014年度の重点施策として巨大地震に備えた災害廃棄物対策を位置付けており、地域ぐるみで広域対応が可能な体制の整備に向け、自治体など関係者の真摯な取り組みが求められています。

今大会では、会期中の各セッションにわたり、各分野の最先端の方々に、これまでの取り組みや知見などをご講演いただき、予想される大災害の発生に伴う問題点を明らかにしていきます。

## 全国環境衛生・廃棄物関係課長会プログラム (10月30日)

特別講演 「東日本大震災の教訓と南海トラフ地震に備えて」(14:00～15:30)  
関西大学教授・京都大学名誉教授 河田 恵昭 氏

セッション 「震災と環境衛生対策―埋火葬における広域対応」(15:30～17:00)  
静岡県立大学名誉教授・日本環境斉苑協会理事 横田 勇 氏  
ほか自治体関係者（香川県・愛知県・東京都）など

## 公開講座「生活環境をとりまく生物」 (11月1日)

「福島のいま」(福島避難地域のネズミ被害情報と今後の計画について、11:15～11:45)  
福島県食品生活衛生課 阿部 雄一 氏

## 公開講座「今！廃棄物処理の現場で私たちが取り組んでいること」 (11月1日)

特別講演① 「大災害時の廃棄物分野の備え  
―南海トラフ地震等大災害を見据えた廃棄物対策―」(13:25～13:55)  
環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課課長補佐 若林 完明 氏

特別講演② 「南海トラフ巨大地震を想定した  
四国各都市の津波災害廃棄物発生量」(13:55～14:25)  
香川大学工学部安全システム建設工学科准教授 山中 稔 氏

「災害がれき・廃棄物の処理等に係るマニュアル等について」(16:15～16:30)  
株式会社環境地質技術部 大野 博之 氏

## 公開講座

# 今！ 廃棄物処理の現場で私たちが取り組んでいること

## 第8回「廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会」

豊島問題、不法投棄対策、廃棄物の啓発普及、南海トラフの大地震を想定した取り組みについて報告をいただきます。廃棄物処理施設の維持管理を中心に今後活かしていくべき情報の交流を図ります。

●日時：11月1日（金）9:30～16:30 ●会場：サンポートホール高松 第2小ホール

主催者挨拶 09:30～35 ■寺嶋 均（一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会 会長）  
開催地代表挨拶 ■脇 鏡一（一般社団法人香川県産業廃棄物協会 会長）

### ■ 基調講演 9:40～10:00

豊島廃棄物等処理事業について ■小菘 雅也（香川県環境森林部 廃棄物対策課 資源化・処理事業推進室 室長補佐）

### ■ 事例研究発表 10:00～11:45 一般廃棄物・ごみ処理関係

座長：河邊 安男（一般財団法人日本環境衛生センター 理事・環境工学部長）

- 1 クリーン作戦を通じての環境啓発 ■高田 稔（高松市環境局環境指導課 適正処理対策室）
- 2 ごみが消えたまち・三豊 ■丸戸 研二（三豊市 環境部）
- 3 環境負荷低減への取り組みについて ■三代崎 大介（香川県東部清掃施設組合 総務課）
- 4 廃熱ボイラの溶射による減肉対策と発電配管肉厚測定費用低減事例の紹介 ■黒木 俊一郎（㈱川崎技研 技術本部）
- 5 ごみ発電と電力改革 ■千歳 昭博（東京エコサービス㈱ 事業開発部）
- 6 近年の新しいごみ発電施設の発電計画の概要及び発電実績について ■古保里 俊夫（一般財団法人日本環境衛生センター 西日本支局 環境工学部建設技術課）
- 7 一般廃棄物処理施設における太陽光発電の運用状況について ■清水 孝昭（アタカメンテナンス㈱技術統括部）

### ■ 事例研究発表 11:45～12:15 し尿汚泥再生処理関係

座長：松田 圭二（一般財団法人日本環境衛生センター東日本支局 環境工学部環境施設課 課長）

- 8 かがわコンポスト事業所の運営管理について ■原 義宗（中讃広域行政事務組合瀬戸グリーンセンター）
- 9 資源化方式別に見る汚泥再生処理センターの建設費 ■西田 剛/印藤 彰（一般財団法人日本環境衛生センター 西日本支局）

12:15～13:00 昼食・昼休み

### ■ 特別行事 13:00～13:20

- 【来賓挨拶】奥村 明雄（一般財団法人日本環境衛生センター理事長）
- 一、一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会 会長感謝状贈呈式
  - 一、一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会 平成25年度年間論文賞表彰式

■ ■ 特別講演 13:25~13:55

- ① 大災害時の廃棄物分野の備え—南海トラフ地震等大災害を見据えた廃棄物対策— ■若林 完明 (環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課課長補佐)
- ② 南海トラフ巨大地震を想定した四国各都市の津波災害廃棄物発生量 ■山中 稔 (香川大学 工学部安全システム建設工学科准教授)

■ ■ 事例研究発表 14:25~15:30 産業廃棄物関係

座長：石黒 智彦(一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会 専務理事)

- 10 低濃度 PCB の無害化処理認定取得について ■川井 泰行(㈱富士クリーン)
- 11 最新鋭シュレッダープラントによるメタルリサイクル ■三木 孝彦/平川 裕貴(三木鋼業㈱)
- 12 リサイクル事業の概要と地域一体の会社づくり ■多田 光昇(㈱リソーシズ 営業企画部)
- 13 セメント生産事業終了後の新たな廃棄物処理事業の取組みについて ■花田 隆(太平洋セメント㈱環境事業部営業企画グループ)

■ ■ 事例研究発表 15:30~16:30 最終処分場関係

座長：八村 智明(一般財団法人 日本環境衛生センター 西日本支局 環境科学部 参事)

- 14 一般廃棄物最終処分場の埋立管理について ■松長 俊和(鳥取県東部広域行政管理組合事務局)
- 15 管理型処分場浸出水からの酸・アルカリ回収とその商品化技術の開発 ■町川 和倫/金城 寿人/池田 恵俊(㈱富士クリーン)
- 16 松山市菅沢町最終処分場における不適正処理事案について ■柏木 康宏(松山市環境部廃棄物対策課)
- 17 災害がれき・廃棄物の処理等に係るマニュアル等について ■大野 博之(㈱環境地質 技術部)